

# 廣瀬仁のルポルタージュ

## 靈的人生を歩むためのヒント

2026/1/3



廣瀬仁のルポルタージュ 精神的人生を歩むためのヒント



「E21-F ④」 アルトヌウロウイ  
ARUT.NOROUY 足立育朗

## 地上人類が最も嫌う話、苦しみの甘受

わたしも1月1日で40歳になりました。2026年がスタートし、皆さんはどういうお過ごしでしょうか？わたしは2026年から本格的に「靈的新時代の到來」の始まり、ある意味「新西暦元年」だと考えています。靈界は幽界下層の地縛靈の救濟を優先していましたので、2025年までは地上世界への介入を抑えていました。そして幽界の地縛靈の殆どの救済が終了したので、2026年から本格的に地上世界の改革を開始するという方針のようです。

それに合わせるかのように、「音叉セルフヒーリング講座」の内容が2026年からフルリニューアルされ、講座の受講内容も大幅に變わります。<sup>か</sup>しかし、あくまでもイエス

再臨を認め、靈界の意向に従う、イエスの意向に従うのが地上人生の最優先事項であることに<sup>へんか</sup>変化はありません。そのためにはイエスの教えである『シルバーバーチの靈訓』の信仰實踐、靈界通信の教えを<sup>たいけいか</sup>體系化した『スピリチュアリズムの思想體系』の正しい理解が不可欠です。

しかし、地上人に「何故、廣瀬仁はシルバーバーチの靈訓を信仰するのですか?」と質問されたことがありません。わたしは「FUGEHUKON」<sup>大靈自然法則</sup>と「FUGEHEKIN」<sup>自然法則</sup>が絶対だと考えていますが、これがイエスより優先すべきものです。そして何故イエスに従うのか、それはイエスが地球上で一番「FUGEHUKON」の「FUGEHEKIN」に基づいた理想の生き方をしているからです。その教えが100%正確に反映されたものがシルバーバーチの靈訓であり、これが人生をどう生きればいいのかの羅針盤になると確信し

ています。その教えは「FUNEKON<sup>靈</sup>優位の生き方」、「調和の實踐」、「苦しみへの正しい対処」を通した「靈性の進化」による「自分で自分を救う自力救済」になります。これを地上人類が正しく理解し信仰實踐すれば、必ず地球人類は破滅を回避し、數百年後に地上天國てんごくを實現できると信じています。なので先ほどの質問の答えは「イエスの教えが正しく地上人類に普及すれば、あらゆる地上世界の悲劇をなくせると信じているから」と答えます。

イエスの教えの中で、わたしは「苦しみへの正しい対処」という項目のみ、あまり語ってはいません。何故ならば殆どこの地上世界の人間が嫌う話だからです。地上人類は苦しみを何とか避けて、樂な人生を歩みたいという考え方であり、人生を樂に生きるために宗教を含め、何かを信仰するという世界です。ニューエイジ系も、基本的に

は「自己の癒し」、「自己の赦し」をわざわざ強調し、如何にワクワクと喜びのみで生きようかにフォーカスしています。

しかし、スピリチュアリズムが明らかにした靈的眞理はそうした思想とは眞逆であり、「無償の奉仕と自己犠牲、苦しみの甘受」であり、自己の癒しや自己の赦し、ワクワク、喜びを強調しているような高級靈はひとりもいません。こうした情報はすべて低級靈からの通信と疑つてからなくてはなりません。

そもそも地上世界は「苦・7」「樂・3」の比率の世界であり、地上人生は基本的にシビアであり、苦しみの<sup>たいけん</sup>體験を通して思いやり、神意<sup>あい</sup>、慈しみの心を養うための世界です。なので、地上世界は苦しみ、困難は避けては通れないという事實を受け入れ

るか、反発するかが人生の分かれ目になります。

すべては原因と結果の法則に支配されている

そもそも人間力を高める、靈性を高める道は「修羅場の數」であり、死線を乗り越える度に人間の潜在能力は開花されていくのが法則であり、ぬるま湯に浸かっていて成長できる人間なんか存在しません。わたしも修羅場の數をくぐり抜けてきて、現在の人間レベルであり、困難が靈性を飛躍的にアップさせる薬物なのです。靈性の進化は、目的と目標を持つて人生を積極的に挑戦し、苦しみ、悲しみも必要な體験と受け入れ、すべての體験を氣づきと學びに變え、問題や課題と真正面から向き合い、欠点や弱点を改善をし続けることで可能になります。問題や課題から逃げていて人間の成

長などあるはずないのに、圧倒的大多數のバカはそうした問題や課題から逃げ、問題や課題の焦点を自分ではなく周りに責任<sub>てんか</sub>轉嫁<sub>てんか</sub>します。そもそもEGHO意識の元は「自分自身の問題でなく、まわりの問題だと責任<sub>てんか</sub>轉嫁<sub>てんか</sub>すること」から始まります。

靈的眞理は、すべては「原因と結果の法則」に支配されていることを強調しています。なので何事においても「原因」を追窮すること、原因とは「本質」ですから、本質を追窮することが學びに繋がります。しかし、地上人類はそもそも「結果」しか見ていませんから、原因を追窮するという姿勢がありません。それは、「結果は目に見えない」とも大きな理由でしょう。因果應報<sub>おうぼう</sub>という四字熟語は「因（原因）果（結果）」を省略し、原因があつて結果があることを四字熟語で表しています。これが靈的眞理の本質であり、すべての現象の大前提なのです。

靈的眞理を知つた者は、困難な人生を生きる責任と義務が生じる

例えば、音叉セルフヒーリングの受講生は何故辞める人間が多いのか？この原因はどこにあるのか？廣瀬仁に問題があるのか？それともEKKO<sup>エーコ</sup>に問題があるのか？教えている内容に問題があるのか？それとも定期購入メニューのシステムに問題があるのか？こうしたことを問い合わせ続けることが本質の追窮に繋がります。

結論からいえば、「音叉セルフヒーリング講座の方向性じたいは間違つてはいないが、まだ時代と地上人類の靈性が追いついていないのが一番の原因」なのですが、じやあ指をくわえて何もしなくても地上人類の靈性のレベルは上がるのか？と聞いたならば、「そんな甘い話があるわけない」というもう一步先の本質にたどり着きます。

そもそもシルバーバーチは精神的真理の普及において、スピリチュアリストの姿勢として重要なことを述べております。

——「精神的知識をたずさえた者に樂な仕事はありません。知識が増えれば増えるほど、ますます困難に遭遇するものと覺悟してください。こんなことを言うからわたしは人気が出ないのでしょうね」——『シルバーバーチの靈訓（十）』 p.169

このようにシルバーバーチは述べていますが、精神界の道具として働くなければならない立場である存在は、自ら率先して困難に遭遇する覺悟がなくてはなりません。更に、何故廣瀬仁が大半の人間に嫌われるのか、それは——「地上では先覺者はあまり歓迎されないので。大てい非難を浴びております」——『スピリチュアリズムによ

る靈性進化の道しるべ』<sup>p.174</sup>——とあるように、地上世界の中では完全に先覺者だからです。そもそもイエスが2000年前に殺された理由もそこにあります。

スピリチュアリズム普及會の記事で、イエスについて述べられている箇所がありますが、「イエスの純粹さと善に対する潔癖性は、当時の人々に後ろめたさと悔恨の思いを抱かせました。靈的眞理に対する妥協を許さない眞摯な態度は、殆どの人間から嫉妬心を湧き上がらせることになりました。イエスの説く教えはあまりにも厳しくて、一般民衆にはついていけませんでした。その生活上の戒律は靈的に過ぎて、放縱と安逸と快樂を求める時代にはそぐわなかつたのです。言い換えれば、そうした高度な教えを受け入れる用意のない時代が、イエスを十字架にかけることになつたのです」と記載されていますが、わたしも同じ理由で大いに嫌われたり、冤罪をかけられたり、

殺されかけたり、様々な體験たいけんをしていますので、イエスが当時嫌われた理由がよくわかれます。

### 廣瀬仁のスピリチュアリストとしての覺悟

しかし、わたしの目標はあくまでもイエスのように生きるのが理想であり、地上人生の中で如何に靈的眞理に適った生活を送り、少しでも惑星地球文化を蘇生させ、イエスから始まつた地球人類救済計画を地上世界で進展させるのかがわたしの生きる意味であり、そのためにはわたしはわたしを捨てています。例え殺されても、死後に幽界最下層で地獄のような苦しみを味わう可能性が高かろうが、靈的眞理の信仰實踐と普及を辞めませんし、地球人類救済計画のためにわたしは自分という自我を捨てて

います。

——「自分を犠牲にする覺悟のできていない人間に、いい仕事はできません。このことは、こうして靈界での生活を犠牲にして地上へ戻つてくるわたし達が身をもつて学ばされてきた教訓の最たるものではないでしょうか」——『シルバーバーチは語る』

p.243

廣瀬仁は、イエスの教えである「苦しみの甘受」そのものを忠實に守ろうとしているのです。しかし、殆どの人間はワクワクとか、喜びとか、人生を如何にラクに生きよう、楽しく生きようという愚か極まりない生き方を選択します。こうした利己主義者のバカばかりの地上世界にわたしは毎日絶望をし、悲しんでいるのです。

生きるとは氣づくこと、學ぶこと、改善することに靈的成長がある

**地上人生は基本的にシビア、地上人類は基本的に薄情**、これが現實であり、それでもその現實を真正面から受け止め、一歩一歩自分のするべきことから逃げずに取り組むことで喜びや樂しみというのは必ずあります。高級靈の通信で、苦しみとは何ですか?と質問したら「喜びへのギフトである」と返答がありました。實は「苦しみと喜びは対の關係性」なのですが、靈的世界と地上世界の喜びと苦しみの定義がまったく違うのです。シルバーバーチの靈訓の中で——「賢明な人間とは、すべての**體驗**を魂の養分として攝取する人のことです。辛いことや煩惱の誘惑に負ることなく、靈性のすべてを傾けて困難に立ち向かう人です。その氣迫に満ちた生き方の中でこそ靈性が磨かれ進化するのです」——『シルバーバーチは語る』――とありますが、そ

そもそも「生きるとは学ぶことであり、**体験**するだけで学んでいなければ生きていると

たいけん

は言えない」のです。地上人類の愚かさの原因はそこにあるのです。ここで基本的な

スピリチュアルジャーニー

靈的巡礼の旅のプロセスを再整理します。

## ① FUNEKON優位、EXA PIECO優位の決心

② 日々の音叉による禱り、シルバーバーチの靈訓の徹底的學習

SEPOUW

③ 背後靈から人の役に立つためのインスピレーションを受け取る

D I K A C

④ 顯在意識にとって都合が悪い内容が9割だけど、自分を犠牲にして決心實行する

じつたい

⑤ インスピレーションを決心實行して成功、失敗の**實體驗**をする

⑥ 成功しようが失敗しようが、氣づきと學びを深める（※最重要）

じつたいけん

⑦ 必ず**實體驗**の経験を元に、次に失敗しないように改善を繰り返していく

これが**スピリチュアルジャーニー**靈的巡礼の旅の一連の流れであり、靈性の進化のための正しいプロセスです。

この一連の流れを正しく理解することで、苦しみや悲しみも必ず糧として靈的成長をしていくことが初めて可能になるといえます。

### 感謝についての本質的な意味

今日は苦しみへの正しい対処という話なので、これも滅多に話さないのですが、「眞の感謝」についてを少し語ります。そもそも、苦しみへの正しい対処とは、「正しい感謝をすること」であり、「EGHO意識」<sup>エゴ</sup>の対極が「正しい感謝」なのです。なので「我意識を滅却する祕訣は何ですか?」と質問されたならば、「感謝の本質、感謝の意味を正しく氣づくこと、正しく理解すること」と答えるでしょう。まあ、この返答の意

味を理解できる人は殆どいないでしょうが……。では、何に感謝するのかが最大の焦点になりますが、これが感謝の本質になります。

### ① 「FUGEHUKON」と「FUGEHEKIN」への感謝

大靈自然法則

FUGEHUKONとFUGEHEKINはある意味で別物です。全生命の創造主、すべての存在の大靈自然法則

母がFUGEHUKON、全生命の管理者、すべての存在の父がFUGEHEKIN<sup>つい</sup>であり、この対の關係性が究極の一極性とも表現できます

### ② FUGEHUKONは全存在物にサポーターをつけていることへの感謝

これは誰しも同じ条件であり、その代表格が「背後靈」と「兩親」です。FUGEHUKONの大靈自然法則

の代理人である背後靈と兩親への感謝は靈的眞理があつて初めて初めて可能になります

SEP0UW

SEP0UW

大靈

### ③ 苦しみ、悲しみこそが靈性を進化させる有り難いギフトであることへの感謝

靈的真理は「有難」こそが進化に繋がり、「無難」こそが退化に繋がる、これを明らかにしています。しかし地上人類は無難、安定、安全、日和見主義でいることを望み、無難に生きることが正しいと錯覚し、死後に激しい後悔をして、再び地上世界への再生を願い出るようになります

感謝の本質は「有り難う」であり、「お陰様」という言葉に集約されています。靈的真理を知った者は、「目的と目標を持つて、積極的に困難に挑戦する人生」を要求されるようになります。これが苦しみの正體しようたいのひとつであり、この挑戦チャレンジすることを「苦しみの甘受」チャレンジと表現します。しかし、この挑戦により必ず靈性は進化します。困難にこそ感謝、難が有るのが有り難いから感謝、これが感謝の本質です。

## やりたいこと、やるべきことのマッチについて

わたしがそもそもやりたいこと、それは「惑星地球文化を正常に甦らせること」であり、地球人類が調和と神意<sup>あい</sup>の生き方に目覺め、心底うんざりするような地上世界の悲劇を根絶させることが一番やりたいことです。

そのためにやるべきことが、「イエス再臨のPR」、「イエスの教えであるシルバーバーチの靈訓の信仰實踐」、「シルバーバーチの靈訓を正しく理解するためにスピリチュアリズムの思想體系<sup>たいけい</sup>を普及すること」が靈的眞理の普及として、人生の最優先事項にしています。これは、惑星地球文化を正常に甦らせるための一一番現實的な方法であり、他に地球人類を救う方法がないことを痛感しているからやるべきことなのです。

音叉ヒーリングも別に本当にやりたいことではありません。そもそもセラピストになつた出發点が「病人を少しでも減らしたい」、「自分自身で病氣は9割治せる」という思想の普及が最初の動機であり、一番の動機は「自分自身で病氣は9割治せるという靈的眞理の普及により、今も病氣で苦しんでいる病人をひとりでも減らしたい」だつたので、音叉セルフヒーリングはそのために普及している側面が大きくなっています。

ユーワード活動なんか、正直やりたくなかったことの代表格のひとつでした。それは、ユーワードが嫌いなのではなく、ネットワークビジネスのシステムが嫌いなのでなく、ネットワークビジネスを盲信し、信者化している人間が大嫌いなのが一番の理由です。わたしはお金のシステムとしてネットワークビジネスは肯定派ではあります、宗教組織化し、自分自身が如何に周りに迷惑を振りまいっているかに気づいてい

ないネットワークビジネス信者は、宗教組織と同列で大嫌いなのです。だから、わたしはユーワード活動はしても、ある程度一線は引いています。それは、そもそも人の人生の目的である「惑星地球文化を正常に甦らせること」、そのための手段である靈的真理の普及、音叉セルフヒーリングの普及に「ユーワード活動が必須」だと靈界通信を通して氣づき、靈的真理の普及と音叉セルフヒーリングの普及のために自分自身の好き嫌いの感情を殺しているのです。

意志を受け繼ぐことが、地上世界を生きた証になる

2026年、1月1日で40歳がスタート、2026年から本格的に「靈的新時代の到來」の始まり、そのための「音叉セルフヒーリング講座」の内容のフルリニューアル、イエス

の地球人類救済計画が地上世界で本格的にスタートするタイミングだからこそ、こうしたお話をしています。その最大の目的は「惑星地球文化を正常に甦らせること」であり、その大事業にエネルギーを使うことが命の目的であり、生きる意味であり、結果的にそうした生き方が靈性の進化のための一一番効率的な時間の使い方です。

これは廣瀬仁の人生観なのですが「人生とは、宿った命をどう使い、どこに運ぶのかによって決まる」と考えています。

これが宿命（命が宿る）、使命（命を使う）、運命（命を運ぶ）の本質であり、人生とは「意志」を誰に「継承」するかで決まります。人が本当に死ぬときは「忘れ去られた時」であり、地球人類救済計画の意志は必ず継承しなければならないのです。